

第17期 BUSINESS REPORT

中間ビジネスレポート

2025年12月期 2025年1月1日～2025年6月30日

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ブロードリーフグループは、「企業理念」および「社名の由来」に込められた想いを、ステークホルダーの皆様とともに実践することを通じて、「企業価値の向上」と「持続可能な社会の実現」を目指しております。
当中間期(2025年1月1日～2025年6月30日)におきましては、中期経営計画(2022-2028)の重点施策である「クラウドの浸透」と「サービスの拡張」が着実に進展し、通期業績計画の達成に向け順調な進捗となりました。
また、お客様をはじめとしたステークホルダーの皆様とともに、環境保全活動「Grow Leaf プロジェクト」を推進しております。プロジェクトの趣旨にご賛同いただいた多くの方々と力を合わせ、1人1人・1社1社では成し得ない活動に取り組んでおります。
引き続き、株主の皆様の変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2025年9月

代表取締役社長

大山 堅司

第2四半期(中間期)業績ハイライト

Q1 当中間期の業績が順調な進捗となった理由を聞かせてください。

A1 当中間期(2025年1月1日～2025年6月30日)の連結業績は、売上収益98億19百万円(前年同期比+16.6%)、営業利益7億71百万円となりました(前年同期は営業損失44百万円)。
業績予想(2025年2月7日公表)に対しては、売上収益、営業利益ともに超過する結果となりました。
売上収益は、お客様のクラウドソフトへの移行が順調に進展するなか、セキュリティ強化等を目的としたPCの買い替え需要が想定以上となったことが主な超過理由です。また、営業活動や管理業務における生成AIの活用により、業務プロセスの見直しを実施した結果、コスト最適化が計画以上に進みました。これらにより、営業利益は予想を超過しました。

Q2 通期業績予想の今回の修正箇所と修正理由を聞かせてください。

A2 下期(2025年7月1日～2025年12月31日)においても、PCの買い替え需要は堅調に推移する見込みです。一方で、IT導入補助金をクラウドソフトの利用料に充当されるお客様においては、補助金の交付時期の影響により、クラウドソフトへの移行時期が先送りとなるケースも生じています。このような状況を踏まえ、通期売上収益予想の201億円を据え置いております。
利益面につきましては、当中間期までのコスト状況を反映し、営業利益を従来予想から1億円上方修正の16億円(前期比では+137.4%)といたしました。なお、親会社の所有者に帰属する当期利益は、当中間期までの金融費用等の状況を踏まえ、10億円(同+191.3%)の予想から変更しておりません。

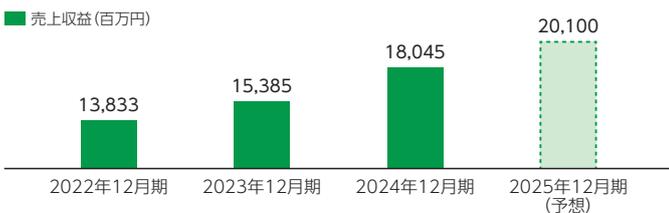
Q3 株主の皆様へのメッセージをお聞かせください。

A3 お客様のクラウドソフトへの移行につきましては、IT導入補助金の交付時期の影響で、一部のお客様では導入を少し先送りされるケースもありましたが、受注は順調に推移しています。特に中堅・大手企業のお客様では、クラウド環境への移行意欲が高く、導入支援や追加機能の提供を通じて、今後もさらなる拡大が期待されます。
計画赤字期間を終え、今期からは利益を積み上げていく新たなステージに入りました。これからも、さらなる企業価値の向上を目指し、経営環境の変化を的確に捉えながら、中期経営計画の完遂と業績計画の達成に向けて取り組んでまいります。
株主の皆様におかれましては、引き続き、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

通期連結業績と配当の予想

増収増益トレンドが持続

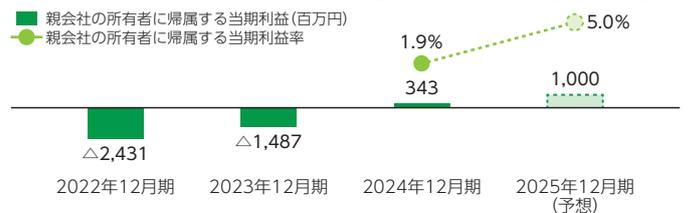
売上収益



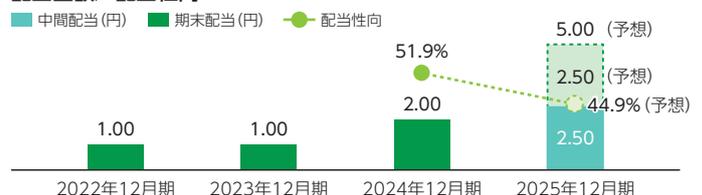
営業利益/営業利益率



親会社の所有者に帰属する当期利益/親会社の所有者に帰属する当期利益率



配当金額/配当性向





東京都品川区「令和6年度環境保全活動顕彰」 企業大賞を受賞しました



左: 当社 代表取締役社長 大山堅司
右: 東京都品川区区長 森澤恭子様
(品川区立環境学習交流施設「エコルとごし」にて)

当社が推進する『Grow Leaf プロジェクト』が、東京都品川区が実施する「令和6年度環境保全活動顕彰」において、企業大賞を受賞しました。

東京都品川区の「環境保全活動顕彰」は、水環境の保全活動、緑化活動など環境保全に関する優れた活動を行っている企業、団体または個人を顕彰するものです。

今年で活動18年目を迎える当社の『Grow Leaf プロジェクト』は、環境保全活動と福祉支援の両面から地域社会に貢献していることが評価され、このたび最高位である企業大賞の受賞につながりました。

当社は、今後も『Grow Leaf プロジェクト』を通じて、地球環境を守るための活動を、会員企業さまとともに実施してまいります。



2024年6月に創設した「ブロードリーフの森」



「しながわ花海道 美化活動(菜の花の種まき)」に参加

『Grow Leaf プロジェクト』とは

2008年に発足した『Grow Leaf プロジェクト』は、社内に込めた想いを具現化する方法のひとつとして、一企業では成し得ない地球環境への貢献を目指す企業参画型プロジェクトです。

ご賛同いただいた会員企業様とともに、環境リレーションズ研究所が運営する森林再生プロジェクト『Present Tree』を通じて植樹を実施するほか、障害のある方々が育てた広葉樹の苗木を使いオンラインで盆栽づくりに取り組み『里山BONSAIワークショップ』の開催など、様々な活動を行っています。



「Present Tree」とは

「Present Tree」は、2005年1月にスタートした森林再生と地域振興をつなげるためのプロジェクト。少子高齢化により増える全国各地の開発跡地や皆伐放棄地、被災林などに樹を植えて、首都圏の人たちがその樹の里親となり、記念樹を10年間地元の人たちと交流しながら育てることで、森だけでなく地域も元気にしていくことを目的に行っています。



ブロードリーフの想い

ブロードリーフは創業来、「企業理念」および「社名の由来」に込めた想いの実践を通じて、変わりゆく事業環境の中でも、常にお客様の事業継続と事業創造に貢献するために最適な製品・サービスを開発・提供しています。

企業理念

感謝と喜び

感謝と喜びの心を根元に、幅広い業種・業界に特化した業務アプリケーションを開発し、より良い製品・サービスを提供することにより、お客様の事業創造に貢献いたします。



社名の由来

ブロードリーフとは **広葉樹** のことです。
 広葉樹の多くは春から夏にかけて葉に日差しを受けて成長し、冬には葉と実を落として土に養分を返します。その循環が様々な動植物と共生できるフィールドを育むのです。
 ビジネスの大地に一本の広葉樹として根をおろし、葉を茂らせ、実をつけ、お客様をはじめとするすべての人々とともに未来へと成長を続けたい。
 ブロードリーフという名にはそのような気持ちが込められています。